



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日
東

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務部副部長 (氏名) 有田 信浩 (TEL) 03-4463-8404
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	138,042	△2.7	21,440	△10.0	22,473	△11.5	17,541	△6.9
2019年3月期第3四半期	141,872	6.9	23,821	6.4	25,391	6.0	18,833	6.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 16,562百万円(7.3%) 2019年3月期第3四半期 15,443百万円(△32.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	119.51	—
2019年3月期第3四半期	126.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	224,827	177,089	78.0
2019年3月期	246,990	182,074	73.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 175,453百万円 2019年3月期 180,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2020年3月期	—	42.00	—		
2020年3月期(予想)				46.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	2.0	38,600	4.1	39,700	1.5	30,600	4.2	208.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	147,000,000株	2019年3月期	149,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,150,124株	2019年3月期	1,217,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	146,776,558株	2019年3月期3Q	148,719,567株

※当社は、第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託契約に基づき自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式が799百万円増加しております。
 また、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。
 期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当第3四半期連結会計期間末において、166,200株です。
 また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当第3四半期連結累計期間において、83,100株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年2月7日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け電話会議の説明内容(音声)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）の国内景気は、設備投資が増加基調にあるものの、海外経済の減速に伴う輸出の低迷により、製造業の企業収益が悪化しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、基礎化学品が減収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料は順調に推移しましたが、半導体材料および無機コロイドで減収となりました。農業化学品部門は、海外向け農薬を中心に減収となりました。医薬品部門は、「ファインテック」（医薬品技術開発型受託事業）は前年並みとなったものの、自社創薬事業が減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期を下回ったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は11月に発表した計画数値を上回りました。

・第3四半期累計期間における連結業績

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2019年3月期 第3四半期 (実績)	2020年3月期 第3四半期 (実績)	前年同期比増減	2020年3月期 第3四半期 (計画数値)	計画数値比 増減
売上高	141,872	138,042	△3,830	139,000	△957
営業利益	23,821	21,440	△2,380	20,600	+840
経常利益	25,391	22,473	△2,917	21,500	+973
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,833	17,541	△1,291	16,800	+741

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P7に記載

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売はほぼ前年並みとなったものの、メラミン（合板用接着剤原料等）は市況の影響を受け減収となりました。ファインケミカルでは、「テピック」の電材向け（ソルダーレジストインキ、LED封止材等）は販売が減少しましたが、一般向け（粉体塗料硬化剤）は増収となりました。

この結果、当部門の売上高は254億97百万円（前年同期比11億24百万円減）、営業利益は8億97百万円（同13億45百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は13億円、営業利益は8億円の下ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P13, 14に記載

機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエパー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けおよびテレビなど大型向けが、ともに好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC[®]）が顧客の稼働率低下の影響を受け低調でした。無機コロイドは、「スノーテックス」の電子材料用研磨剤向けが減収となりました。オルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤、樹脂添加剤）やオイル&ガス材料（シェールオイル・ガス採掘効率向上材）の販売も減少しました。

この結果、当部門の売上高は483億94百万円（前年同期比2億49百万円減）、営業利益は130億72百万円（同6億23百万円増）となりました。計画(注)比では、売上高は8億円、営業利益は14億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P13, 14に記載

* ARC[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

フルラネル（動物用医薬品原薬）は、顧客在庫影響により減収となりました。国内向け農薬は、5月より日本で販売を開始した「グレーシア」（殺虫剤）が好調でした。ラウンドアップは、上期において自然災害等の影響を受けた昨年より増収となり、更に当第3四半期でも順調に推移しました。海外向け農薬は、「タルガ」（除草剤）や「ライメイ」（殺菌剤）等を中心に売上が減少しました。

この結果、当部門の売上高は334億43百万円（前年同期比12億5百万円減）、営業利益は75億35百万円（同9億92百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は3億円、営業利益は3億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P13, 14に記載

医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、国内外共に後発品の増勢により販売価格が下がり、減収となりました。「ファインテック」はほぼ前年並みの売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は49億60百万円（前年同期比5億90百万円減）、営業利益は5億53百万円（同4億57百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は予想通り、営業利益は1億円の下ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P13, 14に記載

卸売部門

当部門の売上高は507億81百万円（前年同期比7億43百万円減）、営業利益は16億34百万円（同74百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は予想通り、営業利益は1億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期第2四半期決算説明会資料(2019年11月8日発表)P13, 14に記載

その他の部門

当部門の売上高は149億31百万円（前年同期比27億44百万円減）、営業利益は1億58百万円（同2億90百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比221億63百万円減の2,248億27百万円となりました。

負債も借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比171億78百万円減の477億38百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比49億84百万円減の1,770億89百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.0ポイント増加し、78.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、348億59百万円の収入（前年同期は324億34百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、129億14百万円の支出（前年同期は96億84百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、399億60百万円の支出（前年同期は372億55百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の減少額1億77百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して181億93百万円減少し、179億89百万円（前年同期は230億99百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、前回発表(2019年11月8日)の業績予想から変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2019年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」のStage IIでは、配当性向を2019年度に42.5%、2020年度以降に45%とすることに加え、総還元性向を2019年度に72.5%、2020年度以降に75%とすることを目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,183	17,989
受取手形及び売掛金	69,193	47,800
商品及び製品	32,215	37,393
仕掛品	41	957
原材料及び貯蔵品	9,742	12,439
その他	5,146	9,237
貸倒引当金	△32	△29
流動資産合計	152,490	125,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,251	24,492
その他（純額）	27,477	28,072
有形固定資産合計	52,729	52,564
無形固定資産		
のれん	4	6,127
ソフトウェア	721	577
その他	791	756
無形固定資産合計	1,517	7,461
投資その他の資産		
投資有価証券	35,229	33,621
その他	5,117	5,483
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	40,253	39,011
固定資産合計	94,500	99,038
資産合計	246,990	224,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,809	19,618
短期借入金	25,465	9,006
未払法人税等	4,330	1,171
賞与引当金	2,137	665
役員賞与引当金	25	19
その他	10,430	12,479
流動負債合計	60,198	42,962
固定負債		
長期借入金	1,116	856
事業構造改善引当金	370	294
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	152	202
その他	2,768	3,114
固定負債合計	4,717	4,775
負債合計	64,916	47,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	143,200	138,450
自己株式	△6,291	△5,436
株主資本合計	169,464	165,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,634	10,022
為替換算調整勘定	△11	△371
退職給付に係る調整累計額	258	232
その他の包括利益累計額合計	10,880	9,884
非支配株主持分	1,728	1,635
純資産合計	182,074	177,089
負債純資産合計	246,990	224,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	141,872	138,042
売上原価	82,409	83,295
売上総利益	59,463	54,747
販売費及び一般管理費	35,641	33,306
営業利益	23,821	21,440
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	676	656
持分法による投資利益	603	523
その他	1,026	709
営業外収益合計	2,324	1,908
営業外費用		
支払利息	81	95
固定資産処分損	473	301
休止損	134	218
その他	64	259
営業外費用合計	754	874
経常利益	25,391	22,473
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,727
特別利益合計	-	1,727
特別損失		
クロスライセンス契約負担金	-	834
特別損失合計	-	834
税金等調整前四半期純利益	25,391	23,366
法人税、住民税及び事業税	4,983	5,186
法人税等調整額	1,455	584
法人税等合計	6,439	5,771
四半期純利益	18,952	17,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,833	17,541

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	18,952	17,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,450	△611
為替換算調整勘定	△18	△395
退職給付に係る調整額	△39	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△3,509	△1,032
四半期包括利益	15,443	16,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,332	16,545
非支配株主に係る四半期包括利益	110	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,391	23,366
減価償却費	7,889	7,382
のれん償却額	-	211
受取利息及び受取配当金	△694	△675
投資有価証券売却損益 (△は益)	△268	△1,727
支払利息	81	95
固定資産処分損益 (△は益)	473	301
売上債権の増減額 (△は増加)	17,250	21,238
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,166	△9,033
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,729	1,916
その他	△171	△1,205
小計	40,515	41,870
利息及び配当金の受取額	1,139	1,249
利息の支払額	△74	△91
法人税等の支払額	△9,145	△8,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,434	34,859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△908	△326
投資有価証券の売却による収入	398	2,944
有形固定資産の取得による支出	△7,441	△6,563
有形固定資産の除却による支出	△376	△266
事業譲受による支出	-	△6,335
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△1,231	△1,983
長期前払費用の取得による支出	△46	△433
その他	△77	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,684	△12,914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△19,485	△15,756
長期借入金の返済による支出	△1,277	△930
配当金の支払額	△11,320	△12,360
非支配株主への配当金の支払額	△167	△111
自己株式の取得による支出	△5,004	△9,076
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	-	△1,724
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,255	△39,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,603	△18,193
現金及び現金同等物の期首残高	37,702	36,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,099	17,989

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月23日の取締役会決議に基づき、2019年5月10日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。加えて、2019年8月20日の取締役会決議に基づき、2019年8月30日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が9,932百万円、自己株式が9,932百万円減少しております。

また、2019年5月15日の取締役会決議に基づき、1,269,600株の自己株式の取得を行いました。加えて、2019年11月8日の取締役会決議に基づき、496,000株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が8,275百万円増加しております。加えて、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」の信託契約に基づき、166,200株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が799百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	19,321	43,090	31,372	5,535	36,482	6,070	141,872	—	141,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,299	5,554	3,276	15	15,043	11,606	42,795	△42,795	—
計	26,621	48,644	34,649	5,551	51,525	17,676	184,668	△42,795	141,872
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	2,242	12,448	8,527	1,011	1,709	449	26,389	△2,568	23,821

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,568百万円には、セグメント間取引消去△426百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,141百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	18,401	42,930	30,022	4,940	35,736	6,005	138,035	6	138,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,095	5,464	3,420	20	15,045	8,926	39,973	△39,973	—
計	25,497	48,394	33,443	4,960	50,781	14,931	178,008	△39,966	138,042
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	897	13,072	7,535	553	1,634	158	23,852	△2,412	21,440

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,412百万円には、セグメント間取引消去△226百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,192百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

農業化学品事業セグメントにおいて、コルテバ アグリサイエンス社の殺菌剤「キノキシフェン」事業の譲受に伴い、のれんが増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は6,335百万円であります。

また、上記の金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。